

諸般報告(平成 24 年 6 月議会)

議長のお許しをいただきましたので、町政の諸般についてご報告申し上げます。

始めに、人口の動向であります。

平成 24 年 4 月 1 日現在の人口は、4 万 2,635 人で、前年の 4 万 2,517 人に比較して 118 人の増となっております。

この人口増の内訳であります。平成 23 年度 1 年間の出生者は 387 人、死亡者は 355 人で、32 人の自然増、また、転入者は 1,697 人、転出者は 1,611 人で 86 人の社会増となっております。

次に、平成 23 年度の各会計の決算見込みであります。

各会計とも、依然として厳しい財政状況を踏まえまして、経費全般の節減を図りつつ、効率的な執行に努めさせていただきました。

5 月末をもって出納整理期間が終わり、現在、最終的な整理をしているところでありますが、その概要についてご報告申し上げます。

まず、一般会計であります。

決算見込み額は、歳入が 137 億 6 千万円、歳出が 129 億円で、歳入歳出差し引き額は、8 億 6 千万円ほどであります。翌年度へ繰り越す財源として、継続費及び繰越明許費の繰越額が 3,800 万円余りございますので、実質収支額は 8 億 2 千万円程度になる見込みであります。

このうち、4 億 5 千万円を財政調整基金へ積み立て、残りを平成 24 年度へ繰り越してまいりたいと考えております。

なお、この実質収支につきましては、財源不足を補うために財政調整基金を始めとする基金 4 億 3,500 万円を取りくずし、また、臨時財政対策債を始めとする町債 5 億 4,500 万円を借入れて、やりくりを

した結果であることをご理解いただきたいと存じます

ご承知のとおり、この数年間、景気の低迷に伴う財源措置として、臨時財政対策債の借入れを行ってまいりましたが、25年度以降は、借入れができなくなります。

また、今後は、町税収入も先細りになると見込まれることから、財政状況の悪化も懸念されます。

従いまして、これまで以上に実施事業を厳しく精査し、「選択と集中」を進めることで、安定した財政運営を図ってまいり所存であります。

次に、決算の主な内容であります。

まず、歳入であります。最終予算よりおよそ5億円の増を見込んでおります。

町税の収入総額は、82億9千万円で、前年度と比較すると4千万円ほどの減となる見込みであります。

税目別に見ますと、町民税は、個人所得の低迷により、個人町民税が2千万円の減、法人町民税は、町内主要法人の業績悪化により1億3千万円の減となる見込みであります。

町民税全体では、約1億5千万円、率にして4.2%の減の見込みであります。また、固定資産税は、主に償却資産の増により5千万円、率にして1.5%の増加見込みであります。

次に、歳出であります。最終予算における不用額が3億6千万円ほどとなる見込みであります。

これは、主に請負差金と経費の縮減努力によるものであります。

次は、各特別会計の決算見込みであります。

まず、「国民健康保険事業 特別会計」であります。

歳入は、40億6,485万円、歳出は、38億 1,705万円で、差引き2億4,780万円の翌年度繰越となる見込みであります。

本年4月1日現在の加入世帯数は、6,062世帯で、前年の 6,003世帯と比較して、59世帯の増、被保険者数は 11,018人で、前年の10,943人と比較して、75人の増となっております。

次に、後期高齢者医療特別会計であります。

歳入は、3億 1,755万円、歳出は、3億1,645万円で、差引き110万円の翌年度繰越となる見込みであります。

なお、本年4月1日現在の被保険者数は、3,765人で、前年の3,578人と比較して、187人の増となっております。

次に、介護保険事業特別会計であります。

決算見込み額は、歳入で 20 億 4,055 万円、歳出で 19 億 5,336 万円となる見込みであります。

前年度と比較して、歳出で 8,318 万円、4.4%の増となる見込みであります。

平成 24 年 3 月末現在の要介護認定者数は、1,076 人で、65 歳以上の高齢者の要介護認定率は 11.9%、うち 75 歳以上の後期高齢者の要介護認定率は 24.6%で、4 人に 1 人の方が認定を受けられている状況にあります。

また、平成 24 年 4 月 1 日現在の高齢化率は、20.5%になっております。本町は、比較的若い町であると言われておりますが、団塊の世代が高齢期を迎え、更に高齢化が進む見込みで、介護サービスに係る保険給付費の増加が予想されるところであります。

本年度は、計画期間が、平成 24 年度から 26 年度までの第 5 期「老人福祉計画・介護保険事業計画」の初年度であります。

高齢者の皆さんが、できるだけ住み慣れた地域や家庭において、

安心して、生き生きと暮らすことができるよう、計画目標の達成に向け、各施策の推進と介護保険事業の円滑な運営に、努めて参りたいと考えております。

次に、農業集落排水事業特別会計であります。

歳入、歳出とも 5,730 万円の見込みであります。

また、下水道事業特別会計におきましても、歳入歳出同額で 15 億 8,288 万円の見込みであります。

最後に、水道事業会計であります。

収益的収支が、収入額 7 億 1,312 万円、支出額 6 億 9,761 万円で、差引きプラス 1,551 万円となりますが、資本的収支の消費税等を差引きしますと 1,436 万円の当年度純利益となる見込みであります。

資本的収支は、収入額 1,320 万円、支出額 9,913 万円で、差引 8,593 万円の不足となる見込みであります。

この不足分は、消費税及び「地方消費税 資本的 収支調整額」、並びに「損益勘定 留保資金」で補てんしてまいります。

続きまして、各所管の状況についてご報告を申し上げます。

始めに、総務部の関係であります。

まず、地域公共交通であります。

平成 22 年 7 月より試行運行しておりますコミュニティバスですが、今年 3 月 30 日に、運行開始からの合計乗車人数が 5 万人に達しました。

また、平成 23 年度にご乗車いただいた人数は、昨年 9 月から導入しました乗合タクシーの利用者 225 人を含めまして、2 万 9,687 人です。

なお、今年度に入ってから 1 日の平均乗車人数は、約 80 人と

なっており、前年度比で、ほぼ横ばいの状況であります。

今年度は、コミュニティバスでカバーできていないエリアについて、昨年導入しました乗合タクシーを、市街化区域でもモデル的に実施すべく準備を進めているところであります。

次に、5年目を迎えました「ふるさと巡回点検事業」であります。

この事業は、区長さん方に各地区の実情を点検・精査をしていただいた中で、地域の「実態点検要望」として町へ提出いただき、それを基に私を始め、町の幹部が現地を訪れまして、問題解決を図ろうとするものであります。

本年度は、9つの区から要望があり、5月15日から25日にかけて、各区長さんを始め、地域の方々と一緒に現地確認をさせていただき、解決に向けた協議を行いました。

要望の内容は、多岐にわたり、本年度予算で対応できる内容ばかりではなく、関係機関との調整や新たな予算措置を要するなど、即応できない案件もありますが、極力、地区のご要望に応えられるよう努めているところであります。

次は、消防関係であります。

来たる6月10日に、中央公民館東広場で第34回消防操法大会が開催されます。

各分団が、日頃の厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮して頂けるものと思いますので、議員各位におかれましても、ぜひご臨席を賜りたいと存じます。

次に、交通・防犯関係であります。

4月28日、国道247号金下交差点の南において、歩行者が軽四貨物にはねられる交通死亡事故が発生しました。

町内では、昨年12月に続く死亡事故となり、たいへん残念であります。

本年1月から4月末までの町内における交通事故の発生状況は、

人身事故が 67 件発生し、死亡者が 1 人、重軽傷者が 78 人であり
ます。

前年同期と比べ、事故件数でプラス 17 件、死亡者がプラス 1 人、
重軽傷者はプラス 20 人と、いずれも増加しており、交通安全対策の
一層の強化に努めてまいりたいと考えております。

次に、防犯関係であります。

去る 5 月 27 日に、「ゆめたろうプラザ」におきまして、町防犯協会の
総会を開催いたしました。

関係者約 150 名のご出席を頂き、本年度の防犯活動推進事業計
画等を定めるとともに、各地区の防犯連絡責任者の委嘱を行いました。
総会後の防犯研修では、半田警察署武豊交番所長の講話と D
VD 上映による啓発を実施しました。

次は、厚生部の関係であります。

始めに、介護予防事業の「憩いのサロン」であります。

平成 19 年度に 3 箇所スタートした会場は、現在は 8 箇所に増
え、地域の高齢者の皆さんに好評をいただいております。

また、約 200 人に近いボランティアの方々が、会場の企画・運営に
携わって頂いております。改めて各関係の皆様へ感謝を申し上げる
次第であります。

そして、来る 6 月 19 日には、小迎公民館におきまして「小迎会場」
が新たに開所の予定であります。

今後とも、高齢者の皆さんが、身近な場所で参加できるようサロン
会場を増やしていく計画であります。

高齢者の皆さんが、要介護状態とならないよう、元気にお過ごしを
頂くと共に、地域とのつながりを深めて頂き、「地域での支え合い体
制」の充実を図って参ります。

次に、保育園の関係であります。

5月1日現在の保育園の園児数は1,348人で、昨年同月と比べ9人の増となっております。

乳児の入所状況も、昨年同月と比べ、8人の増となっております。

また、あおぞら園の関係であります。5月1日現在の利用児童は、14人となっております。

次に、南部子育て支援センターの利用状況であります。

4月4日にオープン致しました、南部子育て支援センターの4月の利用状況は349組、一日平均19.4組であります。

また、併設の富貴児童館の4月の利用状況は725人、一日平均30.2人、富貴児童クラブの4月の申込状況は31人です。

これからも事業内容等の充実を図り、皆さんに喜んで利用して頂ける施設運営に努めて参ります。

次に、環境に関わる事業であります。

まず、今年度「緑のカーテンコンテスト」への申し込みは5月末で締め切り、20件の申し込みを頂いております。

また、5月末までに「住宅用 高効率 給湯器 設置費補助」に28件、「住宅用 太陽光発電 設置費補助」に32件、「合併浄化槽補助」に11件と、それぞれ申し込みを頂いております。

これらの事業を通じまして、環境にやさしいまちづくりを、住民の皆さまと共に進めて参りたいと思っております。

なお、議員各位におかれましては、6月15日の議会最終日に、「環境学習」を予定しておりますので、宜しくお願い致します。

次に、保健事業関係であります。

胃がん検診を始めとする、6種のがん検診につきましては、保健センターで、延べ117回実施いたします。

また、「歯の衛生週間」行事として、6月3日の日曜日に歯科医師会の協力を頂き、歯科健診と小学生までのフッ素塗布を実施いたします。

次に予防接種事業関係であります。

ポリオの予防接種につきましては、本年 9 月以降に従来の生ポリオワクチンに代わり、「不活化ポリオワクチン」の導入が予定されております。

今後、新たな制度に対する情報を収集すると共に、医師会と協議の上、適切に対応して参りたいと考えております。

次は、産業建設部の関係であります。

まず、県道の関係であります。

国道 247 号の富貴駅東の交差点改良事業及び県道大谷富貴線拡幅工事であります。

国道 247 号の改良工事は、石田川に新しい人道橋をつくる工事が発注されております。

また、大谷富貴線は、名鉄の富貴駅より東側及び西側におきまして、南側に歩道を整備する工事が発注されております。

完了予定は、9 月末と伺っておりまして、順次、供用開始されることとあります。

石川橋交差点の右折レーンの改良工事につきましては、暫定ではあります。半田側からの右折車に対して、ポケットスペースを確保するための 1.5 車線工事が発注されており、7 月末までに完了する予定であります。

なお、詳細につきましては、後日の行政報告会で報告させていただきます。

続いて町道の関係であります。

武豊港線歩道設置事業は、昨年度末までに、六貫山郵便局東交差点まで設置工事を完了しました。

現在、野菜茶業研究所の用地取得を進めているところであります。

里中交差点より 300m ほど西側の目堀線交差点改良工事は、昨

年度より交渉しておりました用地取得が完了しましたので、これから速やかに、工事を発注し、今年度末に整備を完了する予定であります。

また、知多半島道路広目跨道橋東の富貴線道路拡幅工事は、昨年度1期工事が完了し、本議会で議案上程しております2期工事は、2月末までに完了する予定であります。

次に、やすらぎの森墓園の二期工事は、平成23年度に不法投棄されました廃棄物の撤去工事も終わり、現在のところ、計画通りの工程で進捗しております。

墓地区画の募集案内を町広報5月1日、15日合併号及びホームページに登載し募集を行ったところ、5月7日から25日までの募集期間に、68件の申込みがありました。

8月1日からの使用開始に向け、順次手続きを進めてまいります。

次に公共下水道の汚水整備状況であります。

23年度で現在の計画区域652haの面整備を完了しました。今後は、適正な施設管理と接続率の向上を図ってまいります。

また、雨水整備事業としまして、昨年度から上ヶ排水区の整備を引き続き進め、今年度は、ヒジリ田地区、前田地区で雨水管渠の整備工事を予定しております。

次に水道事業であります。

今年度より基幹管路の更新、耐震化事業として、鹿ノ子田地区で管径500ミリの管路の布設替工事を予定しております。

次は、教育委員会の関係であります。

まず、学校関係であります。

小学校の入学式は、4月6日、中学校では5日に行なわれ、小学校は4月9日、中学校は5日から1学期がスタートいたしました。

5月1日現在、小学生児童数は2,693人、中学生生徒数は1,382人で、合計4,075人であります。昨年度と比べ、児童では41人の減、生徒では25人の増で、全体では16人の減となっております。

さて、今年の小学校の修学旅行は、5月16日の緑丘小学校を皮切りに4小学校とも5月中に実施され、無事に終えることができました。中学校2校は、6月に計画をいたしております。

次に、富貴小学校 屋内運動場 耐震改築工事の関係であります。今年4月中に基礎工事が完了し、現在、本体の躯体工事に着手しており、10月末の完成に向け、順調に進んでおります。

また、熱中症対策として、小学校の扇風機の設置及び特別支援学級のエアコン設置につきましては、夏休み期間中に設置が完了するよう、準備を進めております。

次に、本年度で11回目となります中学生の海外派遣事業であります。武豊中学校教頭を団長として、2年生の12名を8月16日から24日までの9日間、オーストラリアのケアンズ市へ派遣を予定しております。

また、隔年で実施することになってから本年度で3回目となる小学校の韓国ソウル市大光初等学校との姉妹提携事業であります。武豊小学校教頭を団長として、5年生・6年生22名を、8月22日から24日までの3日間、韓国のソウル市への派遣を予定しています。

次は生涯学習関係であります。

知多半島ケーブルネットワーク株式会社と共催して「知多の魅力を発見！ 知（まるとも）探検隊」と題した企画を計画しております。

この企画は、常滑市、南知多町、美浜町、武豊町の1市3町の小学生を対象とし、それぞれの市町の小学生が、テレビ番組の企画・取材を通して、地域の絆づくりや郷土愛を育むきっかけ作りを目指すものであります。

ちなみに、武豊町の番組は、10月中旬からの放送を予定しております。

次は、歴史民俗資料館の関係であります。

今年度、山崎古墳の出土品並びに「中田池古窯 A 地点第 1 号窯」の出土品について、考古資料としての価値を高く評価し、武豊町の指定文化財とする準備をすすめております。

内容としましては、山崎古墳については、発掘調査報告書で紹介された主だった重要な資料を指定するもので、159 点の一括指定を予定しております。

次に、長尾城址の発掘調査であります。

今議会の専決案件とさせていただいておりますが、JR 東海が、武豊駅西側の武豊町字金下地内に、JR 武豊線電化に伴う変電所の建設を予定しております。

建設予定地周辺は、「長尾城址」として、愛知県教育委員会に「周知の埋蔵文化財包蔵地」の登録をされております。

この「長尾城」は、室町・戦国期の岩田氏の居城とされており、江戸期に編纂された書物などには、「四方一重のほり」があり、東西 34 間(約 61m)、南北 40 間(約 72m)の城割があったと伝えられております。

昨年度の予備調査に続き、既に 5 月中旬より本調査に入り、8 月末を目途に、現地調査を終了する予定であります。

最後に、町民会館の関係であります。

8 月 19 日町民会館収録予定の「出張！なんでも鑑定団 in たけとよ」の鑑定依頼応募状況についてであります。

5 月 31 日現在までの応募件数は、300 点を超えておりまして、内 5 割程度が焼き物の陶磁器や掛け軸で、残りの半分が、絵画、おもちゃ、など様々な品物であります。

出品者の住所地は、本町が約 3 割、常滑市、美浜町、南知多町

で全体の 6 割を占めており、それ以外にも県内各地域からの応募をいただき関心の高さが伺われます。

また、観覧 応募のハガキ枚数は 1,563 枚届いておりまして、人数にしますと 3,000 人以上の申し込みをいただいております。キャパが 600 人ほどでありますので、抽選とさせて頂く予定をしております。

以上をもちまして、町政の諸般報告とさせていただきます。

よろしくお願いを致します。